

【 オフィスビル開発により 「お初天神」お目見え 】

2区画のビル跡地

第一生命保険が北区曾根崎に所有する2区画のビル跡地を敷地整序型といわれる小規模向け理事業を活用して一体化し、建設中の17階建てオフィスビルが姿を現してきました。

近畿での敷地整序型の認可は、阪神梅田駅西のハービスエントに次ぐものだそうです。景気回復に伴いオフィス需要が高まるなか、都心開発の新手法として広がりそうです。

もともと9階建てビル2棟が建っていましたが、分断している市道を廃止し、敷地をまとめたうえで新しいビルが建設されました。

廃止する市道に相当する面積分、敷地周辺の歩道は広くなりました。もとの市道は国道1号（曾根崎通）からお初天神（露天神社）に向かう参道あったことから、新しいビルの1階部分にトンネル状の通路を設け、歩行者が通行できるようになっています。



お初天神の名前は有名でも、繁華街の中にあってちょっと目に付きにくかったかもしれせん。梅新交差点の歩道橋からは、凱旋門のようなトンネルごしにしっかり鳥居が見えます。